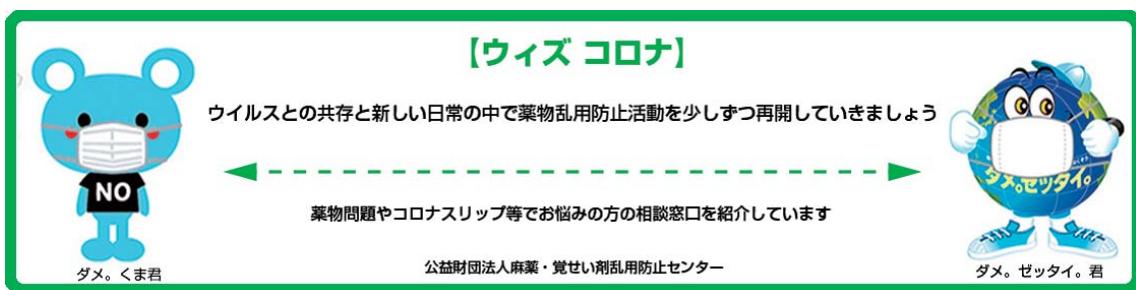


「ダメ。ゼッタイ。」普及運動・国連支援募金 令和3年度の啓発活動状況

～新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて～



この普及運動と並行して、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは、麻薬乱用防止活動に従事する民間団体の活動資金を国連を通じて支援するための「国連支援募金」運動を実施し、本年も全国から善意の浄財が集まりました。

また同期間中には、各種薬業関係団体、理美容、クリーニング、浴場、飲食業等の各環境衛生同業組合等のご協力により、店頭でののぼり、ポスター掲出による啓発、募金運動などを実行なう「地域団体キャンペーン」も地域の実情に沿った運営方式により実施されました。

以下、感染拡大防止を踏まえた都道府県ごとの啓発活動の取り組み状況をご報告いたします。

この普及運動は、国内における薬物乱用防止活動において官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する意識を高めるとともに国連総会決議に基づく「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的としています。

厚生労働省、都道府県、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催し、国際連合(薬物犯罪事務所)、警察庁など関係省庁の協賛及びボーアスカウト、ガールスカウト、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどの民間団体後援のもとに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及びその一環としての「6・26ヤング街頭キャンペーン」を、6月27・28日を中心に約一ヶ月間、各都道府県で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度も昨年度と同様に、地域の実情に配慮した上で実施することとなりました。

本普及運動は、国内における薬物乱用防止

〈「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」における街頭キャンペーン〉

厚生労働大臣メッセージ



厚生労働大臣

今日、覚醒剤、大麻、麻薬などの薬物の乱用が深刻な社会問題となっています。

これらの薬物を乱用すると、自分の意思では止めることが極めて難しくなります。自らの体や心をむしばむだけなく、家族や周りの人々にも大きな影響を与えるため、絶対に使用してはいけません。

我が国では、大麻の

検挙者数が七年連続で増加し、「大麻乱用期」とも言える状況です。大麻の検挙者数の六割以上は三十歳未満の若年層で、SNS等では「大麻は害がない」など誤った情報が拡散していますが、大麻も脳などの有害作用があり、その影響は若年層ほど受けやすいと言われています。

薬物乱用から自分自身を守るためには、どんな人から誘われても、きっぱりと断る勇気を持つことが何よりも大切です。皆様一人ひとりが、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、薬物乱用防止の輪を大きく広げていただき、ともに薬物乱用の無い社会を作っていきましょう。

令和三年六月二十六日

厚生労働大臣 田村 憲久



北海道

月 日	6月20日から7月19日 (地区により新型コロナウイルス感染症の影響により、時期を変更して実施)
活動主体	北海道、北海道警察本部、北海道薬物乱用防止指導員連合協議会、北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会(21地区)、ヤングボランティア(ボースカウト、ガールスカウト、中学生、高校生、大学生等)、薬業関係団体、保護司会、青少年育成団体、関係行政機関等
活動状況	①6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止。 ②地域団体キャンペーン 道内の薬局、薬店、道の駅、温泉、スーパー、関係行政機関等の協力を得て、麻薬・覚醒剤等の乱用防止に関するリーフレット及びポスターの配布を行うとともに、協力団体の店頭でのポスター掲示及び国連支援募金箱設置等の協力要請。

青森県



北道海

月 日 6・26 ヤング街頭キャンペーンは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し中止することとしました。

秋田県

月 日	6月20日～7月19日
活動状況	①6・26 ヤング街頭キャンペーン 昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から県主催のキャンペーンは中止とした。 ②地域団体キャンペーン 各地区で行われる「ダメ。ゼッタイ。」普及運動については、各地区的実情に合わせて実施するように通知した。



秋田県

宮城県

月 日	6月20日～7月19日
活動状況	①6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、街頭キャンペーン未実施。 ②地域団体キャンペーン 県薬剤師会、県生活衛生同業組合等の協力店舗においてポスター掲示、薬物乱用防止の呼び掛けを行った。

開催場所	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 秋田県実行委員会 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 秋田県実行委員会 ・大館鹿角地域実行委員会 ・本荘由利地域実行委員会 ・鷹巣阿仁地域実行委員会 ・大曲仙北地域実行委員会 ・能代山本地域実行委員会 ・横手平鹿地域実行委員会 ・秋田周辺地域実行委員会 ・湯沢雄勝地域実行委員会
活動主体	鷹巣阿仁地域実行委員会が主体でパネル展を開催 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動地域実行委員並びに薬物乱用防止指導員等の協力により、薬局や病院等にてポスターの掲示、リーフレットの配布、募金箱の設置、各団体の会合等での呼びかけ(趣旨の周知、募金への協力)、新聞広告による周知を行った。

山形県

月 日
6月20日～7月19日

活動状況	活動主体
①地域団体キヤンペーン	山形県、一般社団法人山形県医師会、一般社団法人山形県歯科医師会、公益社団法人山形県獣医師会、一般社団法人山形県薬剤師会、一般社団法人山形県医薬品登録販売者協会、山形県薬事工業協会、山形県医薬品卸業協会、山形県医薬品配置協議会、山形県医療機器販売業協会、公益社団法人山形県防犯協会連合会、山形県覚醒剤等追放協議会、山形県婦人連盟、山形県青少年補導連絡協議会、山形県少年補導員連絡会、山形県保護司会連合会、山形県理容生活衛生同業組合、山形県美容業生活衛生同業組合、山形県クリーニング業生活衛生同業組合、山形県興行生活衛生同業組合、山形県旅館ホテル生活衛生同業組合、山形県料理飲食業生活衛生同業組合、山形県交通安全協会組合、一般社団法人山形県自家用自動車協会、山形県社交飲食業生活衛生同業組合、七日町商店街振興組合、山形県遊技業協同組合、一般財団法人山形県交通安全協会、一般社団法人山形県バス協会、公益社団法人山形県トラック協会、公益社団法人山形県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会山形県本部、ライオンズクラブ国際協会3321-E地区、山形県民生委員児童委員協議会、一般社団法人山形県自動車整備振興会、山形県青少年育成県民会議

39 協賛団体にポスター、リーフレット、募金箱を交付し、各団体構成員への薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

②その他

県・各公所でポスター、募金箱を設置し、薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

新間に掲載される県政広報欄や県政ラジオ広報、県政SNSでの薬物乱用防止の呼びかけを行った。

県ホームページにポスター等を掲載し「ダメ・ゼッタイ」普及運動について広く県民に広報した。また、

県庁ロビーのモニターで「今、薬物問題を考えよう！」私たちの未来のために」とのDVDを放映し、薬物乱用防止を強く呼びかけた。

今後の啓発活動に活かせるよう「薬物乱用防止レクチャーパネル」を購入し啓発物の充実を図り、広く活用してもらえるよう県内各保健所と警察本部等へパネルの貸出しを受付ける事を通知した。



山形県

福島県

月 日
6月20日～7月19日



福島県

39 協賛団体にポスター、リーフレット、募金箱を交付し、各団体構成員への薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

②その他

県・各公所でポスター、募金箱を設置し、薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

新間に掲載される県政広報欄や県政ラジオ広報、県政SNSでの薬物乱用防止の呼びかけを行った。

県ホームページにポスター等を掲載し「ダメ・ゼッタイ」普及運動について広く県民に広報した。また、

県庁ロビーのモニターで「今、薬物問題を考えよう！」私たちの未来のために」とのDVDを放映し、薬物乱用防止を強く呼びかけた。

今後の啓発活動に活かせるよう「薬物乱用防止レクチャーパネル」を購入し啓発物の充実を図り、広く活用してもらえるよう県内各保健所と警察本部等へパネルの貸出しを受付ける事を通知した。

活動状況	活動主体	開催場所
①地域団体キヤンペーン	関係行政機関、企業、薬局、中学校、高校、専門学校、大学、警察署等の協力を得て、ポスター掲示やパンフレット配布を行うとともに、国連支援募金活動を通じて、一般住民等への啓蒙活動を行った。若年層への啓発活動においては、若者を含む多くの人の目に触れやすい駅や自動車教習所、又、高等学校登校時等に啓発資材を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。	福島市、伊達市、二本松市、郡山市、田村市、須賀川市、石川町、平田村、白河市、棚倉町、会津若松市、喜多方市、会津坂下町、南会津町、相馬市、いわき市 計16ヶ所

41 協賛団体に対して、各団体構成員への薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

②その他

県・各公所でポスター、募金箱を設置し、薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

新間に掲載される県政広報欄や県政ラジオ広報、県政SNSでの薬物乱用防止の呼びかけを行った。

県ホームページにポスター等を掲載し「ダメ・ゼッタイ」普及運動について広く県民に広報した。また、

県庁ロビーのモニターで「今、薬物問題を考えよう！」私たちの未来のために」とのDVDを放映し、薬物乱用防止を強く呼びかけた。

今後の啓発活動に活かせるよう「薬物乱用防止レクチャーパネル」を購入し啓発物の充実を図り、広く活用してもらえるよう県内各保健所と警察本部等へパネルの貸出しを受付ける事を通知した。

茨城県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	①6・26ヤング街頭キャンペーン…水戸市（他の地域では新型コロナウイルス感染症拡大のため学校やショッピングセンターの展示、資材配布を実施） ②地域団体キャンペーン…県内各地
活動主体	茨城県、茨城県薬物乱用対策推進本部、茨城県薬物乱用防止指導員協議会、関係団体、関係機関
参加人員	41名（水戸市 キャンペーンの参加人数）
活動状況	<p>①6・26ヤング街頭キャンペーン</p> <p>水戸駅前で薬物乱用防止指導員、薬事関係団体、ライオンズクラブ、青少年育成協会、市町村、警察等の協力を得て、リーフレット、マスク、ポケットティッシュ等の啓発資材を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。また、その他の地区においては、新型コロナウィルス感染症拡大のため学校やショッピングモールの展示スペースにおいて、パネルやポスターの展示、啓発資料の配布を実施した。</p> <p>②地域団体キャンペーン</p> <p>県内の薬局等の薬事関係施設、理・美容所、旅館等の生活衛生営業施設、食品関係施設、病院・診療所、大学・専門学校等約3,000の店舗・施設の協力を得て、ポスターの掲示やリーフレットの配布を実施した。併せて店頭等に募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。</p> <p>③その他</p> <p>夏季茨城県高等学校野球大会会場（5球場）において横断幕の掲示を行い、選手、来場者、ケーブルテレビ視聴者に対する啓発を行った。また、県庁2階広報コーナーにおいて、薬物乱用防止止啓発パネル及び薬物標本の展示を行った。</p>



茨城県

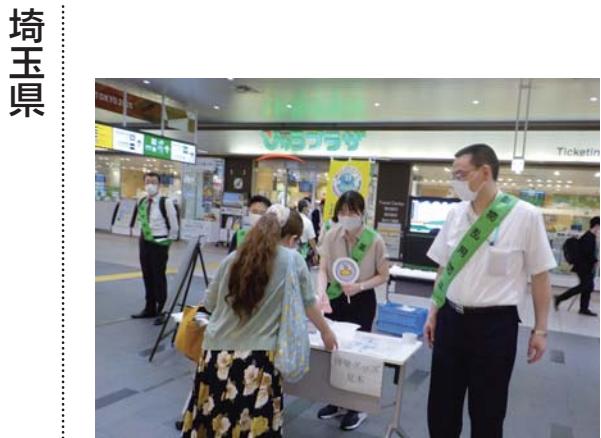
栃木県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	県内一円
活動主体	栃木県、宇都宮市
参加人員	約150名
活動状況	<p>①6・26ヤング街頭キャンペーン</p> <p>本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が見られる状況を鑑み、街頭キャンペーンは実施しないこととした。</p> <p>②地域団体キャンペーン</p> <p>県内の各市町、警察署、各関係機関等の協力を得て、リーフレットの配布を行った。また、来庁者に対してリーフレットや啓発資料を配布したり、国連支援募金への協力を呼びかけた。</p> <p>③その他</p> <p>県ホームページや県公式Twitter、地元テレビの県政報道企画を活用し、薬物乱用防止を呼びかけた。また、県庁の企画展示コーナーに薬物乱用防止に関する展示をしたり、県内の小学5・6年生、中学生及び高校生に対して啓発リーフレットを配布するなど、薬物に関する正しい知識の普及啓発に努めた。</p>

群馬県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	県内各地区において地域団体キャンペーンを実施した。
活動主体	群馬県、前橋市、高崎市、群馬県薬物乱用対策推進本部、群馬県「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止推進連絡会議（12地区）、ヤングボランティア（ボーライスカウト、ガールスカウト、高校生等）、関係団体（薬剤師会、保護司会、民生委員児童委員協議会、少年補導員連絡会、医薬品配置協会、ライオンズクラブ、更生保護女性会、食品衛生協会、ロータリークラブ等）
参加人員	約150名
活動状況	<p>①地域団体キャンペーンとして、薬局や飲食店、理容店、クリーニング店、旅館等の協力を得て、ポスター掲示や店頭にリーフレットやポケットティッシュの設置、募金箱を設置してもらい国連支援金募金活動への協力を呼びかけた。</p> <p>②保健所等の関係施設の敷地内に横断幕やのぼり旗を設置し、地域住民に周知した。</p> <p>③市町村の広報誌やラジオ、インターネット等を活用し、広く住民に広報した。</p> <p>④7月9日から27日までの期間、第103回全国高等学校野球選手権群馬大会が実施された上毛新聞敷島球場及び高崎城南野球場に「ダメ。ゼッタイ。」の横断幕を掲出した。</p> <p>⑤7月11日にザスパクサツ群馬の試合会場にて、群馬県警察本部と合同で、来場者に対し薬物乱用防止啓発を実施した。</p>

活動状況	参加人員	活動主体	月 日
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 駅頭等において、のぼり等を掲示するとともに、リーフレット、うちわ及びウェットティッシュ等の啓発資料を配布した。 ② 地域団体キャンペーン 関係団体の店頭等にポスター掲示及び募金箱設置を行った。	約100人	玉県実行委員会、埼玉県警察本部、埼玉県教育委員会、各市町村、（一社）埼玉県薬剤師会、ライオンズクラブ330-C地区、日本ボイスカウト埼玉県連盟など	6月20日（日）～7月19日（月）



埼玉県

活動状況	開催場所	活動主体	月 日
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、街頭キャンペーンは中止とした。 ② 地域団体キャンペーン 医師会、歯科医師会、薬剤師会、薬業会、理容生活衛生同業組合、美容業生活衛生同業組合、クリーニング生協、生活衛生同業組合等の協力を得て、関係施設にポスターの掲示及び国連支援募金箱を設置し、薬物乱用防止を訴えた。 ③ 広報啓発活動 県ホームページ、ツイッター、テレビ、ラジオCM等の媒体を通じて薬物乱用防止を訴えた。	千葉県、千葉県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、千葉県薬物乱用防止指導員協議会	行政機関（県庁、保健所）等	6月20日～7月19日



千葉県

活動状況	開催場所
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、「令和3年度『6・26国際麻薬乱用撲滅デー』都民の集い」の開催を中止とした。 ② 地域団体キャンペーン 都ホームページ、都広報誌、新聞などのメディアや、都保健所のデジタルサイネージを活用し、薬物乱用防止に関する内容を掲載した。 また、TwitterやYouTube等で啓発動画を放映し、主に若年層に対して薬物乱用防止を訴えた。 ③ その他 都ホームページ、都広報誌、新聞などのメディアや、都保健所のデジタルサイネージを活用し、薬物乱用防止に関する内容を掲載した。 また、TwitterやYouTube等で啓発動画を放映し、主に若年層に対して薬物乱用防止を訴えた。	行政機関（都保健所他） 東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会、関係行政機関、関係民間団体等

月 日	開催場所	活動主體	活動状況
6月20日（7月19日）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年7月に横浜駅等で実施している街頭キャンペーンは中止	県薬剤師会、神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議（薬物乱用防止指導員協議会、麻薬等薬物相談員会、保護司会連合会、横浜税関、県内関係機関等182団体）、市町村、教育委員会、県警察本部等	薬物クリーンかながわ推進会議が中心となり、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施期間中に県内各地において、各関係機関・団体及び市町村にポスターの掲示、募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。 その他、県内大学において学生向けの情報提供を目的に開設しているサイトを活用し、県内の大学生に向けて薬物乱用防止を呼び掛けた。

ト新潟連盟、国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所、ライオンズクラブ国際協会3331-A地区、公益社団法人新潟県防犯協会、公益社団法人新潟県食品衛生協会、公益財團法人新潟県生活衛生営業指導センター、一般社団法人新潟県医薬品登録販売者協会、新潟県医薬品配装置協議会、日本医薬品卸勤務薬剤師会新潟県支部、新潟県高等学校野球連盟、新潟県ラグビーフットボール協会

活動状況

①新潟県警察ノードラッグ大使の動画を活用したSNS広告

新潟県警察ノードラッグ大使のN e g i c c o（アイドルユニット）、T S U N E Iさん（シンガーソングライター）、稻垣啓太さん（ラグビー選手）からいたメッセージ動画をY o u t u b e及びT w i t t e rに広告として掲載し、薬物乱用防止を呼びかけた。

※「6・26ヤング街頭キャンペーン」の代替となる普及啓発活動

②若年層への薬物乱用防止講演会
新潟県警察と連携し、大学、専門学校の学生向けに講演会を開催した。

③その他

全国高等学校野球選手権大会期間中、会場のハードオフエコストジアムに薬物乱用防止啓発の横断幕を掲出し、高校生をはじめ広く県民に啓発した。

県構内等で薬物乱用防止啓発の横断幕ボスターを掲出するとともに、庁舎内の生協売店や金融機関等に国連支援に係る募金箱を設置し、来庁者等に対しても啓発を行い、募金の協力を呼びかけた。

活動主体 県、警察本部、金沢市保健所、薬剤師会、 保護司会、医薬品登録販売者協会、医薬 品配置協議会、ライオンズクラブ、更生 保護女性連盟、BBS連盟、ボイイスカ ウト、ガールスカウト等
活動状況 ① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 中止



②地域団体キャンペーン

6月20日から7月19日までの期間、薬剤師会等の地域団体の協力を得て、薬局や生活衛生営業施設等にポスターを掲示して啓発を図るとともに、募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼び掛けた。

③その他

7月9日から開催された第103回全国高等学校野球選手権石川大会の期間中に、関係機関の協力を得て、横断幕・ポスターを掲示し球場に応援に来た学生ら若者に薬物乱用防止の啓発を行った。県が設置した大規模ワクチン接種センターにおいて若者世代が接種対象である時期に、特設コーナーを設け、啓発資材・パンフレットを配布した。

また、県のテレビ広報番組「ほっと石川」にて違法薬物乱用防止を主題とした回を設け、正しい知識の周知を図った。

日時…6月26日（土）17：15～17：30

番組名…ほっと石川（MRO北陸放送）

内容…違法薬物乱用防止について
出演…県薬事衛生課、県警組織犯罪対策課、県こころの健康センター



石川県

福井県

活動状況

①6・26 ヤング街頭キャンペーン

例年ショッピングセンター等で実施していた街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、中止とした。

②地域団体キャンペーン

病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店等の各関係機関・団体および市町に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発ポスターの掲示および募金箱の設置を依頼し、薬物乱用防止の普及啓発と国連支援募金への呼びかけを行った。

③その他

6月21日から1週間、福井県庁1階ホールで薬物乱用防止啓発パネル展を実施した。また、キャンペーン期間に限らず、各学校の要望に応じて薬物乱用防止啓発パネル展および薬物乱用防止教室を実施し、若年層への薬物乱用防止について啓発を行った。

山梨県

活動主体	開催場所	月 日
地域団体キャンペーン 各関係機関・団体や市町村役場等にリーフレットその他啓発資材等の配布を行うとともにポスターの掲示、	県内各関係団体	6月20日から7月19日



長野県

活動主体

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動長野県実行委員会参画4機関・22団体

県、県薬物乱用対策推進協議会、地区薬物乱用対策推進協議会、県医師会、県歯科医師会、県製薬協会、県医薬品配置協議会、



山梨県

福井県

募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。

<p>岐阜県</p> <p>活動状況</p> <p>岐阜県薬物乱用対策推進本部を構成する各団体、県内各高等学校・大学等に対して、ポスターの掲示や募金箱の設置等の協力依頼を行った。</p>	<p>県保護司会連合会、県子ども会育成連合会、ライオンズクラブ国際協会334-E地区、国際ロータリー第2600地区、県ホテル旅館生活衛生同業組合、県美容業生活衛生同業組合、県クリーニング生産衛生同業組合、県理容生活衛生同業組合、県公衆浴場業生活衛生同業組合、日本ボイスカウト長野県連盟、ガールスカウト長野県連盟</p>
 <p>長野県</p>	<p>① 6・26 ヤング街頭キャンペーン（中止） 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度の街頭キャンペーンは中止した。</p> <p>② 地域団体キャンペーン 病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店、理・美容所、クリーニング店、ホテル・旅館、公衆浴場、自動車教習所等約9,000施設において、ポスターの掲示と一声運動を実施した。</p> <p>また、薬局・薬店約1,100店舗の店頭に募金箱を設置し、国連支援募金に協力した。</p>

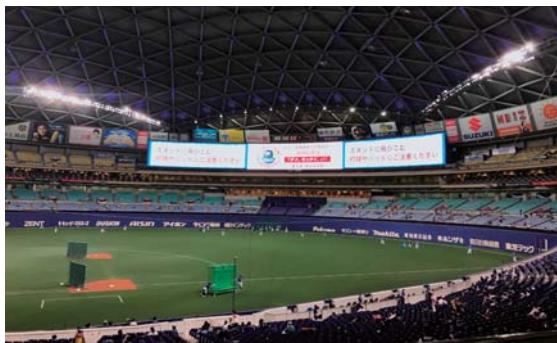
活動主体	開催場所	月 日	静岡県									
			静岡県総合庁舎	静岡県政令市保健所、ケーブルテレビ	① 6月20日～7月19日	② 5月31日～6月27日	③ 7月10日	④ 6月26日、7月16日	⑤ 7月1日	⑥ 6月16日	⑦ 6月25日、6月30日	⑧ 6月29日
静岡県、静岡県薬物乱用対策推進本部、静岡県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、静岡県薬物乱用防止指導員協議会、各市町、一般社団法人日本ボイスクルスカウト静岡県連盟、一般社団法人ガーラスカウト静岡県連盟、ライオンズクラブ国際協会334-C地区、国際ロータリー第2620地区、国際ソロブチミスリーグ、一般社団法人静岡県医師会、一	静岡県、静岡県薬物乱用対策推進本部、静岡県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、静岡県薬物乱用防止指導員協議会、各市町、一般社団法人日本ボイスクルスカウト静岡県連盟、一般社団法人ガーラスカウト静岡県連盟、ライオンズクラブ国際協会334-C地区、国際ロータリー第2620地区、国際ソロブチミスリーグ、一般社団法人静岡県医師会、一											

活動状況	静岡県	活動状況									
		○ 6・26 ヤング街頭キャンペーン	● 期間中、県総合庁舎、政令市保健所等において、薬物乱用防止啓発パネル等によるパネル展を実施し、啓発用リーフレットやポケットティッシュを配架し、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。	● 期間中、NHK、SBSの地上デジタルテレビのデータ放送にて、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報スポットを放送した。	● 県民がより6月号に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。	● 6月16日、SBSラジオ（AM局）、K-Mix（FM局）にて、ラジオ広報番組「県庁ニュースふじのくに」に出演し、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報を行い、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。	● 6月26日、7月16日、富士ニュースに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。	● 6月29日、静岡新聞に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。	● 7月1日、岳南朝日新聞に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。	● 7月10日、岳南朝日新聞に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。	● 静岡県公式Instagram、facebook、Twitterにて、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
一般社団法人静岡県歯科医師会、公益社団法人静岡県薬剤師会、静岡県医薬品登録販売者協会、公益社団法人静岡県病院協会、静岡県配製医薬品協議会、静岡県医薬品卸業協会、静岡県製薬協会、静岡県理容生活衛生同業組合、静岡県美容業生活衛生同業組合、静岡県クリーニング生産衛生同業組合、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合、静岡県カラオケBOX協会、静岡県保護女性連盟、静岡県カラオケBOX協会、日本塗料商業組合静岡県支部											

の広報を行い、広く県民に薬物乱用防止を訴えた。

○地域団体キャンペーン

各市町及び関係団体等の協力を得て、県内各所に啓用ポスターを掲示するとともに、募金箱を設置して国連支援募金への呼び掛けを行った。



愛知県

三重県

月	日	開催場所
6月20日から7月19日		東員町社会福祉センター、三重県桑名保健所、くわなメディアライヴ、イオン桑名、ジャズドリーム長島、三重県四日市庁舎、四日市市総合会館、近鉄四日市駅北口ふれあいモール、三重県鈴鹿市内正面玄関ロビー内、鈴鹿市内コミュニティセンター、亀山市内コミュニティセンター、三重大学生活協同組合（第1食堂）、三重県立看護大学、三重県立津高等学校、三重県立津西高等学校、三重県立津東高等学校、三重県松阪庁舎、松阪市健康センターはるる、大台町役場、多気町役場、明和町役場、イオン阿児店、三重県伊賀府舍1階ロビー、アピタ伊賀上野店、近畿日本鉄道名張駅、三重県伊賀府舍、三重県尾鷲府舍1階ロビー、三重県熊野市舍1階熊野県民ホール 計28ヶ所

その他、大相撲名古屋場所開催時のドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）、プロ野球中日ドラゴンズ試合開催時のバンテリンドームナゴヤ、名古屋競馬場などで、啓発資材の配布、横断幕の設置、場内放送、電光掲示板標示等を行い、薬物乱用防止の周知を図った。

①地域団体キャンペーン
他に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と併せて、街頭募金を行い、国連支援募金への協力を呼びかけた。
②ポスターの掲示や薬物標本の展示、横断幕やのぼり旗を掲揚するとともに、高校生や県民にリーフレット、ポケットティッシュ等の啓発資材を配布しながら、薬物乱用防止を訴えた。

三重県薬物乱用対策推進本部や薬物クリーンみえ推進協議会を構成する団体等の協力を得て、ポスターの掲示、啓発資材の配布や一声運動の実施を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。

なお、地域によっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、例年通りの街頭啓発は実施せず、県庁舎等において、ポスターの掲示、啓発資材の配布等により、来庁者への薬物乱用防止を訴えた。

活動状況

県、保健所等において、募金箱の設置及び啓発資材の配布を行った。
また、愛知県の薬物乱用防止PR大使「薬物乱用ダメ。ゼッタイ」である地元アイドルのOS☆Uが啓発資料を大須商店街で配布した。

愛知県

月	日	開催場所	活動主体	参加人員
(6月) (7月) (9月)	21日～25日、 5日、6日、14日 （実施見込み分を含む）	愛知県内	愛知県	63名

滋賀県

①6・26 ヤング街頭キャンペーン
県内の主要駅、ショッピングセンターなどで薬物乱用防止指導員や薬物乱用防止指導啓発団体を中心に、三重県薬物乱用対策推進本部や薬物クリーンみえ推進協議会を構成する団体等が官民一体となって、街頭キャンペーンを行った。



滋賀県

①6・26 ヤング街頭キャンペーン
街頭啓発に代えて量販店（2店舗）に薬物乱用防止啓発パネルを設置し、啓発を行った。

②地域団体キャンペーン
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発期間には、地域団体キャンペーンとして、病院、診療所、歯科診療所、薬局、薬店、ライオンズクラブ会員の施設等、地域団体の協力を得てポスターの掲示と一声運動を実施し、併せて店頭等に募金箱を設置して国連支援募金活動に協力した。



滋賀県

京都府	
活動状況	
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、6・26 ヤング街頭キャンペーンは中止とした。 その代わりとして、府内保健所等に募金箱を設置し、広告媒体等を用いた国連支援募金への協力の呼びかけを行った。
② 地域団体キャンペーン	府内各種関係団体に対し、店頭等でのポスターの掲示や募金箱の設置を依頼し、キャンペーンの周知と国連支援募金への協力呼びかけを行った。 また、府内各大学・専門学校等に対し、ポスター掲示を依頼し、若年層への薬物乱用防止の呼びかけを行った。 その他、各地区薬物乱用防止指導員により小中学校

大阪府



京都府



大阪府

の児童等を対象とした薬物乱用防止教室が実施、リーフレットの配布がされ、薬物の危険性を伝えると共に本運動の周知がされた。

大阪府	
開催場所	月 日
行政機関、協力団体 大阪府、大阪府「ダメ。ゼッタイ。」普及運行委員会、大阪府薬物乱用防止指導員協議会、関係行政機関、関係民間団体 等	6月20日～7月19日

活動状況	
活動主体	開催場所
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。 ② 地域団体キャンペーン 関係機関、協力団体・企業等の協力を得て啓発ポスターの掲示やリーフレットの配架等を実施するとともに、国連支援募金箱を設置することで、啓発並びに募金協力呼びかけを行った。	行政機関、協力団体 大阪府、大阪府「ダメ。ゼッタイ。」普及運行委員会、大阪府薬物乱用防止指導員協議会、関係行政機関、関係民間団体 等

兵庫県

活動状況	開催場所	月 日
本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し、地域の実情に応じて、県下5か所において街頭啓発キャンペーンを実施した。 街頭啓発キャンペーンでは、活動参加者は啓発用ビデオに加え、マスクや手袋等を着用し、人の滞留が無いよう活動範囲を点在させる等して感染拡大防止対策を講じつつ、啓発資材（リーフレット、ウエットティッシュ等）を配布したり、横断幕やのぼりを設置する等して、薬物乱用の害や危険性を訴えた。また、但馬地区では、ボイスカウトやガールスカウトの子供たちも参加して実施した。 また、街頭啓発キャンペーンを実施しなかった地区では、各事務所内での来庁者等への啓発資材の配布、ポスターや啓発パネル、募金箱等の設置、管内高等学校を対象に啓発資材を配布する等して、地域住民への啓発を行った。	兵庫県、保健所設置市、兵庫県薬物乱用防止指導員協議会、各地区薬物乱用防止指導員協議会、ライオンズクラブ、ボイスカウト、ガールスカウト等 神戸市、尼崎市、加東市、豊岡市、丹波篠山市 計5か所	6月26日、6月27日、7月1日～7月7日（横断幕、のぼりの設置）

府ホームページや府広報誌、公式Facebook、市町村広報誌等を利用した運動の周知並びに啓発を図った。
③その他

金協力呼びかけを行った。また、7月の「少年非行・被害防止強調月間」に合わせて、イベント会場等においてポスター掲示、啓発メッセージ映像の放映、リーフレット・啓発物品の配布を行い、薬物乱用防止訴えた。

兵庫県		
活動状況	開催場所	月 日
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。 ② 地域団体キャンペーン 関係機関、協力団体・企業等の協力を得て啓発ポスターの掲示やリーフレットの配架等を実施するとともに、国連支援募金箱を設置することで、啓発並びに募金協力呼びかけを行った。	兵庫県、保健所設置市、兵庫県薬物乱用防止指導員協議会、各地区薬物乱用防止指導員協議会、ライオンズクラブ、ボイスカウト、ガールスカウト等 神戸市、尼崎市、加東市、豊岡市、丹波篠山市 計5か所	6月26日、6月27日、7月1日～7月7日（横断幕、のぼりの設置）

月 日	6月26日
開催場所	和歌山市、岩出市、紀の川市 計4箇所
活動主体	和歌山県、和歌山県薬物乱用防止指導員 协議会、和歌山県薬物乱用対策推進本部、関係機関、関係団体 等
参加人員	93人

和歌山県

奈良県

活動状況

① 6・26 ヤング街頭キャンペーン

今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止した。

② 地域団体キャンペーン

関係団体や県内コンビニ及びショッピングモール等に、啓発ポスターの掲示や募金箱の設置を依頼し、啓発を行うと共に国連支援募金への協力を呼びかけた。



兵庫県

鳥取県



鳥取県



和歌山県

「ダメ。ゼッタイ。」を合い言葉に、リーフレット、キズバンド、ティッシュなどの啓発物品を配布した。
② 地域団体キャンペーン
関係団体等の協力により、啓発ポスターを店頭に掲示するとともに、医薬品関係業者、生活衛生関係業者の店舗や職場において、国連支援募金活動を実施した。

島根県

活動状況

① 6・26 ヤング街頭キャンペーン
新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点からボスターの掲示やリーフレット等啓発資材の配布を行ったほか、各機関の窓口へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。

② 地域団体キャンペーン

市町村、警察署、医療機関、薬局等の協力によりボスターの掲示やリーフレット等啓発資材の配布を行った。

機関等にもポスター、募金箱等を送付し啓発に努めた。
また、国連支援募金への協力を依頼した。
その他、「子ども向け薬物乱用防止リーフレット」を作成し、県内の関係機関や学校へ配布した。

月 日	6月26日
開催場所	和歌山市、岩出市、紀の川市 計4箇所
活動主体	和歌山県、和歌山県薬物乱用防止指導員 協議会、和歌山県薬物乱用対策推進本部、関係機関、関係団体 等
参加人員	93人

岡山県

岡山県

活動状況

① 6・26 ヤング街頭キャンペーン
新型コロナウィルス感染症の拡大防止の観点から、令和3年度の6・26 ヤング街頭キャンペーンの実施はありませんでした。

6・26 ヤング街頭キャンペーンを実施出来なかつた地区での代替となる普及啓発活動としては次のとおり。
・ 学校生徒保健委員会が主体となり、生徒が独自に作成した薬物乱用防止リーフレットを生徒から生徒へ校門前で配布した

・ 普及運動期間中に、高等学校に普及運動のリーフレット等の啓発資材を配布
・ 10・11月の麻薬・覚醒剤乱用防止運動にあわせ、高等学校へポスターの開催依頼をする予定
・ 各高等学校のホームルーム時間等に啓発資材を配布
・ 薬物乱用防止教室にあわせ、啓発資材を配布

② 地域団体キャンペーン
関係機関の窓口等へ募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。

月 日	6月26日
開催場所	和歌山市、岩出市、紀の川市 計4箇所
活動主体	和歌山県、和歌山県薬物乱用防止指導員 协議会、和歌山県薬物乱用対策推進本部、関係機関、関係団体 等
参加人員	93人

鳥取県

① 6・26 ヤング街頭キャンペーン
県内各地域の薬物乱用防止指導員協議会が中心となり、和歌山県警察、和歌山海上保安部、大阪税関和歌山税関支署、各少年センター、県内ライオングクラブなどの関係機関・団体の協力を得て、駅前やショッピング

県内各地区とも中止とした。

② 地域団体キャンペーン
各団体はもとより、各市町村及び県庁並びに県地方

● 17

広島県

活動状況

6・26 ヤング街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送ったため、代替となる活動を次のとおり行った。

- ① 薬務課及び県保健所のホームページに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動についてのページを作成、掲載した。
- ② 保健所内の掲示スペースにポスターを掲示した。
- ③ ラジオ番組に出演した。

(1) 【日時】令和3年6月21日(月)～6月25日(金) 18：30頃

【活動主体】広島県東部保健所生活衛生課

【番組・コーナー名】イブニングスペシャル

【概要】薬物乱用防止の啓発活動について、パーソナリティと対話形式で、生放送を行った。

(2) 【日時】令和3年6月16日(水) 7：45頃

【活動主体】広島県健康福祉局薬務課

【番組・コーナー名】おはよう中国「暮らしの

安全安心一口メモ」(FMみはら)

【概要】近年増加傾向にある若者の大麻乱用を誘われたときの断り方、薬物の健康への影響等についてアナウンサーと対話をを行い、薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」を視聴者に呼び掛けた。

山口県

活動状況	① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ② 地域団体キャンペーン 山口県において、薬物乱用防止普及啓発に係るポ
活動主体	山口県健康福祉部薬務課
開催場所	山口県庁

徳島県



山口県

活動状況	① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 薬物乱用防止地区協議会を活動主体として、例年実施をしてきた6・26ヤング街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のため、中止
活動主体	県、県薬物乱用防止協議会（県下6地区協議会）、阿波ライオンズクラブ、池田高校のJRC部
開催場所	県下一円（地域団体キャンペーン）

香川県



徳島県

活動状況	① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、パレードは中止とした。
活動主体	香川県、各保健所薬物乱用防止対策連絡協議会、香川県麻薬・覚醒剤・シンナー禍対策推進員、市町、警察署、保護観察所、税関支署、海上保安署、ライオンズクラブ、国際ソロブチミスト、少年育成センター、更生保護女性会、保護司会、薬剤師会、小学生、中学生、高校生、教員等
開催場所	瓦町フラッグ8階 市民交流プラザ IKODE 瓦町（7月9日～7月11日）

スターや令和2年度薬物乱用防止ポスター及び標語の入賞作品の展示を行った。また、啓発物（リーフレット、クリアファイル等）も配置し、薬物乱用の恐ろしさを来庁者に訴えた。（6月21日～7月2日）

また、各種関係機関・団体等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターの掲示や、リーフレットの配布を行った。

③ その他
薬物乱用防止啓発のデジタルチラシ（タブレットや電子掲示版用）を作成し、活用した。

とった。
三好地区においては、阿波ライオンズクラブ会員と池田高校のJRC部員が6月25日に同校前で薬物乱用防止の呼び掛けや啓発資料の配布を行った。
② 地域団体キャンペーン
薬物乱用防止地区協議会及び薬物乱用防止指導員を活動主体として、県内市町村役場、各事業所、店舗等の協力を得て、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のポスターの掲示や募金箱の設置を行い、国連支援募金活動を実施した。

活動主体	開催場所	月 日	愛媛県
			香川県
愛媛県、愛媛県薬物乱用防止指導員協議会（愛媛県保護司会連合会、ライオンズクラブ、愛媛県薬剤師会、愛媛県薬業協会、愛媛県少年警察ボランティア協会、販社協会、愛媛県配置薬協会、愛媛県登録販売者協会）	四国中央市、新居浜市、今治市、松山市、八幡浜市、西予市、宇和島市の計7ヶ所	6月15日～7月16日	



香川県

県下4カ所の薬物乱用防止対策連絡協議会が中心となつて、市町、警察署、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、その他医療・衛生関係機関等の協力を得て、県内の各施設において募金箱の設置やポスターの掲示を行つた。

東讃地区においては、社会を明るくする運動の中上で記開催場所にて街頭啓発活動として非接触型の資材配布を行つた。

また中讃保健所では、啓発ポスターだけでなく啓発用垂れ幕を掲示して薬物乱用防止の啓発に努めた。

活動主体	開催場所	高知県
		愛媛県
高知県、高知県薬物乱用防止推進連合協議会、東部・中央東・高知市・中央西・高陵・幡多の各地区薬物乱用防止推進協議会、ヤングボランティア（ボーアスカウト、小学生、中学生、高校生、大学生等）、民生委員、保護司、ライオンズクラブ国際協会336-A地区、関係行政機関職員	高知県内一円	6月20日～7月19日



愛媛県

創膏、その他ポケットティッシュ等の啓発資材を配布し、薬物乱用のない社会環境づくりを目指し、薬物乱用防止を広く県民に呼びかけた。

活動状況	開催場所	福岡県
		香川県
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 例年、県下6地区の薬物乱用防止推進協議会が中心となり、ヤングボランティア等の協力を得て、パレード等の街頭キャンペーンを実施し、薬物乱用防止の啓発資料の配布や募金活動等を行つてゐるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区的状況に応じて、イベントの中止もしくは実施の延期を検討している。 ② 地域団体キャンペーン 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動賛・後援団体に対し、リーフレットの配布、ポスター掲示及び募金箱設置の依頼を行うなど啓発活動に努めた。	県、県薬物乱用対策推進本部、ライオンズクラブ国際協会、（公社）福岡県医師会、（公社）福岡県薬剤師会、（公社）福岡県医薬品登録販売者協会、福岡県医薬品卸業協会、（公社）福岡県製薬工業協会、福岡県医療機器協会、福岡県保護司会連合会、福岡県更生保護女性連盟、福岡県BBS連盟、日本ボースカウト福岡県連盟、（公社）ガールスカウト福岡県連盟	6月20日～7月19日



福岡県

支援募金箱の設置等の協力を依頼した。
県庁において、薬物乱用を県民に広く周知するため、懸垂幕を掲示した。

佐賀県

支援募金箱の設置等の協力を依頼した。
県庁において、薬物乱用を県民に広く周知するため、懸垂幕を掲示した。



佐賀県

月 日	開催場所	活動主体	参加人員	活動状況
7月17日	鳥栖市	佐賀県、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、薬剤師会、保護司会連合会、少年補導員連絡協議会、地域婦人連絡協議会、高等学校、ライオンズクラブ、B-S連盟、ボーカルカウト、ガールスカウト、警察署等	4人	① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保健福祉事務所単位で行う街頭キャンペーンは中止した。 薬務課主催で、サッカースタジアムにおいて、リーフレット、絆創膏、標語入ポケットティッシュ一式の啓発資材、薬物乱用防止の広告を入れたサッカーフラブの応援うちわを配布しながら、街頭キャンペーンを実施した。 ② 地域団体キャンペーン 各協力団体、市町、県警本部、県庁各機関等において、ポスターの掲示による啓発や募金箱の設置により国連支援募金活動を実施した。

長崎県

6月26日、7月1日、7月11日

月 日	開催場所	活動主体	参加人員	活動状況	
平戸市、壱岐市、新上五島町 合計2市1町3か所	長崎県薬務行政室、薬物乱用防止指導員協議会、長崎県警察本部、長崎県薬剤師会、長崎県医薬品登録販売者協会、長崎県保護司会連合会、長崎県防犯協会連合会、ライオンズクラブ国際協会337-C地区、長崎県医薬品配置協会、日本ボイスカウト長崎県連盟、長崎県PTA連合会、長崎BBS連盟、長崎税関、各市町等	1,151名	① 6・26 「ダメ。ゼッタイ」ヤング街頭キャンペーン 県、薬物乱用防止指導員協議会が中心となり、関係機関・民間団体等の協力を得て、県下3か所において実施した。なお、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域を限定して実施した。 人が多く集まるショッピングセンター等を会場において、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、通行人、買物客等に対し、啓発資料（リーフレット・ポケットティッシュ・カットパン等）を配布するとともに国連支援募金への協力をを行い、薬物乱用防止への理解と協力を呼びかけた。 ② 地域団体キャンペーン 各団体の協力を得て関係施設に啓発用ポスターの掲示及び国連支援募金箱を設置して国連支援募金活動に協力した。また、県庁舎に「ダメ。ゼッタイ。」普及横断幕を掲示し、啓発活動を行った。 ● 青少年への啓発活動 全国高校野球選手権長崎大会（甲子園予選）において、長崎市の県営ビッグNスタジアム及び佐世保市総合グラウンド野球場にて「ダメ。ゼッタイ。」普及横断幕を設置し、来場者に対し啓発を行った。また、県内自動車学校等若者が多く集まる場所でポスターを掲示し、チラシの配布を行った。		

熊本県

月 日	開催場所	活動主体
6月20日～7月19日	県内一円	熊本県、熊本県薬物乱用対策推進本部、熊本県薬物乱用防止指導員連合協議会、ライオンズクラブ国際協会337-E地区、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動熊本県実行委員会、各市町村、熊本県教育委員会、（公社）熊本県医師会、（一社）熊本県歯科医師会、（公社）熊本県歯科薬剤師会、（一社）熊本県医薬品登録販売者協会、（一社）熊本県医薬品配置協会、熊本県製薬協会、熊本県医薬品卸業協会、熊本県歯科用品商組合、日本薬局協勵会熊本県支部、阿蘇製薬（株）、（株）再春館製薬所、リバテープ製薬（株）、K.Mバイオロジクス株式会社、（二財）化学及血清療法研究所、熊本県保護司会連合会、熊本県防犯協議会連合会、熊本県少年警察ボランティア連絡協議会、熊本県社会教育委員連絡協議会、熊本県地域婦人会連絡協議会、熊本県更生保護女性連盟等



長崎県

参加人員	6人
活動状況	
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染防止等の観点から、地域の実情に応じて中止や規模縮小を含め対応することとした。また、麻薬・覚醒剤乱用防止運動期間中（10月～11月）にあわせ、住民等に対しても声掛けや啓発資材の配布等を予定している。	
② 地域団体等キャンペーン 県内各保健所、薬局・医薬品販売業者、病院、自衛隊駐屯地等の各種団体・機関において、ポスターの掲示による啓発及び国連支援募金への協力依頼を行った。	



熊本県

参加人員	13人
活動状況	
① 6・26 ヤング街頭キャンペーン 各関係機関、関係団体、市町村、大学等に対して、ポスターの掲示や国連支援募金への協力依頼を行った。	

活動状況	① 街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭キャンペーンは中止とした。 期間中に、次のことを実施した。 ① 国連支援募金発（県広報誌への掲載） （国連支援募金及びポスター等の掲示） ② 県の広報機関を利用した普及啓発（県内各関係機関への普及・啓発依頼）
活動状況	
② 地域団体キャンペーン ・ 大分県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会委員や地域の団体・企業等の協力を得て、ポスターの掲示、募金箱を設置した。 ③ その他 ・ 期間中交通量の多い大分市内の歩道橋一ヵ所、「佐伯市、別府市の歩道橋一ヵ所に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の横断幕を掲示し、啓発活動を行った。 ・ 小中学校に対して、薬物乱用防止及び薬の適正使用についてほけんだより等への掲載を依頼した。（一部地域） ・ 大分県の広報媒体であるFacebook及びホームページ等で薬物乱用防止を呼びかけた。 ④ 地域団体キャンペーン ・ 後援団体等の協力を得て、募金箱の設置やポスターの掲示を行うとともに、各種研修等において啓発活動を開催した。	



鹿児島県